

## 2学期始業式（全日制） 校長講話

おはようございます。夏休みが終わり、久しぶりに皆さんの元気な姿を見ることができ、とてもうれしく思います。また、大きな事故の報告もなく全生徒が無事学校に登校できたことに感謝します。

私事ですが、6月下旬から7月中療養の為、お休みを頂きました。3年生最後の鈴蘭祭、1学期の締めくくりの終業式にも参加できず、申し訳ありませんでした。自分だけは、いつまでも元気で医者にかかることなど眼科と歯医者くらいと高をくくっていたのがいけなかったと反省しています。定期健診、人間ドックの重要性を再認識した夏になりました。8月に入り迷走していた台風5号の影響で体験入学の実施が危ぶまれましたが、当日は、無事、500名を越える多くの中学3年生、保護者の方々、引率の中学校の先生方をお迎えすることができました。その際には、生徒会を始め、部活動の生徒の皆さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、夏休み前半は、全校生徒対象に補習授業が行われました。高校生ですから本業は学習です。先生にくらいついていくほどの熱い思いを持ってこれからも取り組んで欲しいと思います。3年生の中には、ほとんど毎日学校に登校し、本格的に受験モードに突入していた皆さんを多く見かけました。又、部活動など、新体制での合宿や練習の中で技術向上を目指しながら、チームとしての絆を強めた日々を送った1・2年生もいるでしょう。

今日、皆さんと同世代の高校生が甲子園の頂点を目指してベスト4の戦いが行われています。大会の応援歌「栄冠は君に輝く」をみんな知っていますか？最近ハズミカルな曲調でダンスしているCMが流れていますが、その歌詞についてのエピソードをある研修でお聞きし、感動したのでお話ししたいと思います。この歌詞は、大会30回の節目を記念して全国から歌詞の応募を募り5000通を超える歌詞の中から最優秀作品に選ばれた作品だそうです。

「雲は湧き 光溢れて 天高く 純白の球 今日ぞ飛ぶ・・・」

当初作詞は中村道子さんとなっていました。実はその方の婚約者の加賀大介さんであったことが、50回大会の際に公表されました。なぜ名前を伏せて応募したのかというと、プロの文筆家であったため周囲から懸賞金目当てと思われるのを嫌ったからだそうです。加賀さん自身も高校球児でしたが、怪我による骨髄炎のため右足を切断しなくてはなくなり、野球を断念した経緯があり、野球に対する熱い思いが込められています。この話を聞いた方が、自身も高校野球の試合の際に、自分のエラーで勝ち進むことができず、そのことをずっと引きずって野球から背を背けていたが、違った形で高校野球に貢献したいと考え、審判員として甲子園出場を果たしたという投書があったということです。人は挫折や失敗から学ぶことも多くあり、乗り越える力が大切だと思う話です。

今日から2学期の始まりです。気持ちも頭髪・服装も学校モードにチェンジしてください。高校は義務教育ではありません。

自ら望んで選択し野沢南高校で学んでいるはずです。そして学校は公式の場です。プライベートな場所ではありません。そこをよく考え認識して欲しいと思います。例えば、いつも不思議に思っていることがあります。授業中に体育の際のジャージを着用していることに対して私はなぜ？と思います。体育では、動きやすく汚れてもいいように、指定の運動着があります。それはあくまで体育の授業着であって、汗をかいて汚れたままの運動着を他の授業で着用するのは違うのではないかと思います。TPO（時・場所・場合）を考慮することができるように前向きに考え、本校は制服がなくなり自由化になったわけです。自由だからなんでもよいではありません。考える事、それが大切です。考えて行動してください。これは、学校生活に限ったことではありません。これから皆さんが生きていく上で社会人として最も大事なことです。ここにいるみんなには、しっかり考え、想像する力のある人間になってほしいと願っています。86日間の長い2学期です。一日一日を大切にいきましょう。

以上で始業式のあいさつとします。